

平成30年度 志摩市ふるさと応援基金(寄附金)の運用状況



全国のみなさまより、志摩市ふるさと応援寄附(ふるさと納税制度)にてご支援いただき、ありがとうございます。

平成30年度は、2,428件、100,732,532円(※)のご寄附をいただきました。

これらの寄附金は、ご寄附いただいた方のご指定分野別に、ふるさと応援基金として積み立てられ、次のとおり運用しましたことを報告いたします。

※記載の件数・金額にはガバメントクラウドファンディング(GCF)を含みます。

平成30年度寄附金受入額内訳

1 環境に関する事業	12,680,263円
2 生活・安全に関する事業	1,850,000円
3 産業の振興に関する事業	9,740,000円
4 健康・福祉に関する事業	8,180,000円
5 教育・文化に関する事業	29,755,000円
6 まちづくりに関する事業	4,530,000円
7 指定なし	32,394,269円
8 ガバメントクラウドファンディング (若者の留学を応援!)	1,603,000円

※収入額

事業別内訳

◆小学校空調機器設置事業

基金充当額 20,400,000円

志摩市内の、5つの小学校の普通教室などに、LED照明器具を設置し、教育環境の向上を図りました。

子どもたちは新しい明るい照明に大喜びです!



◆幼稚園管理運営費

基金充当額 9,800,000円

保育室に空調機器がついていなかった、
鵜方幼稚園と浜島幼保園に、新たに空調機
器を設置しました。おかげで暑い夏もすご
しやすくなり、子どもたちの体調管理にも
役立てることができました。



◆通学路安全員配置事業

基金充当額 1,000,000円

信号機を設置するまでの時限的措置として
東海小学校に通学する児童の交通安全のため
シルバー人材センターに委託し、通学路上で
の児童の安全誘導等を行いました。

◆スクールバス運行管理事業

基金充当額 17,000,000円

志摩市内の学校再編により閉校となった、
東海小学校と東海中学校の校区から通学する
児童生徒の安全安心な通学手段を確保するた
め、スクールバスを運行しています。



◆夢の教室開催事業

基金充当額 250,000円

第一線で活躍するアスリート波戸康広
選手を特別授業講師に迎え、東海小学校
5年生を対象に、フェアプレー精神や夢
をもつことの大切について、実践を交え
て講演してもらいました。目標に向けて
努力する心を育み、未来への選択肢の幅
を広げます！

◆情報システム管理一般経費

基金充当額 2,900,000円

タブレット端末を使ったICT授業を実現するため、活用環境が整っている東海小学校をモデル校として、普通教室用タブレット端末40台と、特別支援学級用タブレット端末3台を導入し、プログラミング教育を取り入れた授業を行いました。



◆学校図書館支援員配置事業

基金充当額 5,000,000円

学校図書館の活性化と児童の読書活動の促進を図るため、学校図書館支援員を小学校に配置し、資料整備や読書活動の推進業務を行いました。



◆総合教育センター整備事業

基金充当額 19,000,000円



『美しい自然やひたむきに生きる 地域の大人に囲まれ、心豊かに育ち、これからの志摩市を担ってほしい』

子どもたちを取り巻く様々な環境や時代の変化に伴う、新たな教育課題や施策へ、迅速かつ的確に適切な対応ができるよう、教育課題の解決と子どもの成育の支援を行う場として旧大王町健康管理センターいきいき館水仙を改修し『志摩市総合教育センター』を新たに整備しました。

◆小学校備品購入経費

基金充当額 350,000円

南海トラフ等の地震で津波等が想定される志摩市。学校内で車椅子等の生徒がいるときの災害時避難器具の車椅子補助具『シンリキ』を、各小学校へ配置しました。



◆スポーツ観光推進事業

基金充当額 3,000,000円

8月下旬に志摩市の国府の白浜で開催された、第53回全日本サーフィン選手権大会の開催費用の一部を補助しました。

1週間にわたり開催された本大会で、全国から集まった延べ約1,000名の選手が熱戦を繰り広げ、志摩市在住の選手が見事優勝！団体戦でも三重支部が優勝しました！



◆宿泊施設バリアフリー改修補助事業

基金充当額 2,500,000円

障がい者や高齢者等にも使いやすい施設にするため、宿泊施設のバリアフリー改修工事にかかる経費の一部を補助しました。改修内容は主に、階段や浴室への手すりの設置、トイレの洋式化などで、改修した施設からは、今後の利用者増加へも繋げていきたい！との意気込みがありました。



◆灯台ワールドサミット開催事業

基金充当額 2,000,000円

西洋式灯台の建設が始まった1868年（明治元年）から150年を記念し、志摩市をはじめ全国で参観灯台のある4自治体が発起人となり、歴史的灯台を観光資源として次世代に引き継ぐために、灯台の保全と活用の推進を目的として『灯台ワールドサミットin志摩』を開催しました。

◇参観灯台とは？◇

外から見るだけでなく、灯台の中に入れて上にも登れる灯台のことを言います。



◆外国人観光客誘致推進事業

基金充当額 9,900,000円

志摩市観光協会内にインバウンド専門員を設置し、セールス活動や情報発信、受入れ体制整備の業務を委託しました。

また、国際ゴルフツアーオペレーター協会が主催する「第1回日本ゴルフツーリズムコンベンション」が志摩市で開催されたため、負担金を支出しました。

他に、志摩市で開催された「日ASEAN次官級交通政策会合」の負担金を支出しました。



◆外国人観光客おもてなし推進事業

基金充当額 1,500,000円

市内の宿泊施設や観光施設の、多言語化や、Wi-Fi利用環境の整備に係る費用の一部を補助しました。この整備により外国人観光客への更なる“おもてなし”ができるようになりました。

◆中小企業支援事業

基金充当額 450,000円

志摩市内の中小企業団体等が、販路拡大や新規需要開拓のために、商談会等に出展するブース料の一部を補助しました。また、日本政策金融公庫の融資制度を活用し、経営改善をする小規模事業者に対して、利子補給を行いました。



◆友好自治体宿泊施設利用助成事業

基金充当額 150,000円

志摩市と友好自治体である日進市の方々に、志摩市の景観や食の魅力の情報発信をして、宿泊者の増加を図るため、志摩市の宿泊施設の利用に対して、利用料の一部を助成しました。





◆志摩市を元気にする創業・事業拡大支援事業

基金充当額 5,000,000円

志摩市内で事業をはじめの方、事業の拡大をする事業者に対し、事業の経営基盤を強化するための補助金を交付するため、「志摩市創業支援基金」を設置し、積立をしました。



起業や就職などに必要な資格の取得を広く支援するため、対象資格を取得した方に補助金を交付しました。【H30実績：介護福祉士・介護職員初任者研修】

◆がんばる市民を応援する事業

基金充当額 140,000円

また、地域振興に寄与する市民の育成を目的として、起業や就職に有利となる、市の指定した資格を取得した方に奨励金を交付しました。【H30実績：野菜ソムリエ】

◆安乗岬園地休憩舎整備事業

基金充当額 8,800,000円

伊勢志摩国立公園ステップアッププログラムのビューポイントにも指定された安乗埼灯台の周辺を、ユニバーサルデザイン化するため、今年度は安乗岬園地休憩舎内のトイレを中心に、改修を行いました。



◆創造の森横山整備事業

基金充当額 43,600,000円

環境省の国立公園満喫プロジェクトを受け、伊勢志摩国立公園ステップアッププログラムのビューポイントに指定された横山園地の、創造の森横山の駐車場や園路の舗装、側溝の改良等を行いました。



みけつくに

◆御食国海外展開事業

基金充当額 500,000円



みけつくに

古くから『御食国』として都の食文化を支えてきた、福井県・兵庫県と連携して『食の国』であることを海外でPRしました。他の日本食との違いを前面に出し、香港の日本料理店9店舗ではレストランフェアを、イオンスタイルコーンヒル店では物産展等を開催しました。

日本の市場が少なくなるなか、高価格商品の販売も望める海外市場への販路拡大を目指します。

◆賢島スポーツガーデン施設改修事業

基金充当額 33,200,000円

利用者が増える中、劣化により傷んできた賢島スポーツガーデンのテニスコートの人工芝を張り替えました。

テニスコート内の段差がなくなり、安全で快適に全コートを使えるようになり、利用者の方々はとても喜んでプレーをしています。



◆文化財PR映像制作事業

基金充当額 8,000,000円

世代を超えて、今もなお受け継がれている伝承の大切さを再認識し、その魅力を市内外に発信するため、志摩市の歴史や文化財を紹介するPR映像（DVD）と、PR番組（2本）をつくりました。



◆学校給食センター管理運営費

基金充当額 1,600,000円



毎月1回、志摩市産の食材（アオサ、ヒジキ、カツオ節、南張メロン等）を使った給食を行いました。また、食材を通じて地域の魅力に気付くきっかけづくりとなるよう、

実際に食材を作っている生産者を学校へ招き、児童たちへ地場産物の特徴や作り方などを教えてもらう『生産者交流会』も5回開催しました。

◆国際交流事業

基金充当額 6,400,000円



志摩市合併により交流が途絶えていた、台湾
かれんけんしんじょうごう
 花蓮縣新城郷と、友好交流協定を締結し、調印式・お披露目式を行いました。お互いの地域を訪問し合い、志摩市の祭り 伊勢えび祭への参加等を通して市民同士の交流を深めました。

また、異文化体験や語学習得等、修学の機会を広げ、将来的に社会に有用な人材を育てることを目的とした教育交流の場に、市内の中学生6名が参加し、志摩市にゆかりある方も所属する南カリフォルニア三重県人会の協力も得て、交流を深めました。

◆伊勢志摩の真珠PR事業

基金充当額 1,900,000円

産学官の連携によりアコヤ真珠の魅力を発信し、協働事業を通して交流人口・関係人口を増やせるよう、市場拡大・志摩市の地域活性化に繋がりました。

フォーマルに限らず、普段の服装にも真珠のアクセサリーを合わせ、真珠に触れる機会を作り、新たに若いファン層を増やすべくファッションショーやネイルアーティストのデモンストレーションを実施し、ベビーパールを使った志摩ならではのネイルアートで、真珠の魅力を発信しました。また「志摩と真珠」と題してシンポジウムを開き、若い世代の取り組みや情報発信等、様々な視点から志摩の真珠産業について意見交換を行いました。



みけつくに

◆御食国食文化展開事業

基金充当額 4,000,000円

食文化を専門的に学ぶイタリア食科学大学や地域資源関係者と連携し、地域資源の洗い出しや国際的な地域食文化を学ぶプログラムを2本実施し、食文化研修を通じて、
みけつくに
 御食国の食文化の価値を効果的に外国人に伝えられる人材を数名育成しました。



◆水産業の担い手受け入れ推進事業

基金充当額 4,000,000円

まとや
 的矢地区でカキ養殖漁業者の新規受け入れ態勢を整え、地域おこし協力隊制度を活用して、指導者のもとで技術を習得し、協力隊委嘱期間終了後はカキ養殖漁業として独立できるよう後継者を育成しています。


しゅびょう
 ◆種苗放流事業

基金充当額 6,400,000円

志摩市の海女漁業がこれから先も発展していくよう、資源管理型漁業を図るべく、海女漁の主な魚種であるアワビ資源を増やすため、漁協が行う種苗放流事業への補助の他、市内沿岸域14地区で漁協や県立水産高校等と連携し、アワビの種苗16万個余りを放流しました。



◆農業生産者育成事業

基金充当額 3,000,000円

志摩市の認定農業者を対象に、農業機械や農業用資材の導入、農業用施設の新設・増設にかかる経費の一部を補助しました。



◆農業の担い手受け入れ推進事業

基金充当額 2,200,000円

農業の担い手として、地域おこし協力隊の隊員を募集し、志摩市の特産品のいちご『レッドパール』と、“きんこ”の原材料となる『隼人芋』の栽培研修を受け、いちご・芋農家後継者の育成をしています。



◆6次産業化推進事業

基金充当額 1,000,000円

市内の農業者および漁業者の所得向上と雇用の拡大による地域活力をアップさせるため、『志摩市6次産業化支援事業計画』を提出し事業認定した農業経営者、1法人の、加工用施設の建設にかかった費用に対して補助金を交付しました。



◆名水百選案内看板等改修事業

基金充当額 3,800,000円

環境省の名水百選に選ばれている『恵利原の水穴（別名：天の岩戸）』の案内看板を新しくしました。外国人観光客にも対応できるように、一部看板には英語表記も行い、また、耐久性を考えたコンクリート擬木構造で、国立公園内の景観にも配慮した構造にしています。



◆美化パートナー事業

基金充当額 2,200,000円

志摩市が管理している道路や河川等の公共施設を掃除をしたり、景観保持活動をするボランティア団体に対し、活動支援のための助成金を交付しました。

◆道路除草防草経費

基金充当額 6,000,000円

市道を安全に通れるよう、除草作業を行い、さらに防草目的のために張りコンクリートを路肩に施工しました。



◆道路維持修繕経費

基金充当額 15,000,000円

市道等の傷んでいるところを安全に通行できるように修繕しました。



◆避難所運営用品購入事業

基金充当額 2,000,000円

大規模災害を想定し、円滑な避難所運営が行えるよう、避難所の間仕切りや簡易トイレ等の避難所運営用品を購入しました。



◆若者の健診事業

基金充当額 2,000,000円

自ら生活習慣病の予防を心がけ、健康的な生産年齢世代を育成するため、20～30歳代を対象に、集団健診の場を提供しました。



◆阿児健康増進センター管理運営費

基金充当額 3,000,000円

阿児健康増進センター「サンライフあご」のトレーニングルームに、

備品を購入しました。本年度はデュアルアジャスタダブルプーリー1台、アップライトバイク2台、オプションパワーパック1台を購入しました。



◆若者の集いと出会いの支援事業

基金充当額 800,000円

若者の出会いや地域の魅力を若者自身が再発見する機会の創出を促すため、市内で若者が集まるイベントを開催した5団体に対し、費用の一部を補助しました。

◆移住しやすい志摩づくり事業

基金充当額 600,000円



志摩市へ移住を考えている方たち向けに作成した「移住ガイドブック」を更新し、各地の移住交流施設や観光施設等に設置、移住相談会でも配布しました。また、志摩市に移住された方の移住体験やこの地域の状況を撮影した『移住PR動画』を作成しホームページで発信。志摩市へ移住を考えている方たちへPRするとともに、市内の方にも志摩市の魅力を再認識させ、移住者の受け入れ態勢を整えるいい機会となりました。

◆若者世代の移住促進事業

基金充当額 2,000,000円

志摩市が定める一定の要件を満たす若者や子育て世帯の移住者に対し、移住から1年間に支払った家賃の一部を補助しました。※一次産業者は3年間。

人口減少や高齢化等が著しい渡鹿野島で、島の活性化を図り、情報発信をする地域おこし協力隊1名を委嘱しました。島内における地域活動やSNSによる島の情報発信、観光客が快適に島内を満喫できるよう、ベンチや展望デッキ等の塗り替え、道案内標識や花壇の整備を行いました。

また、東京で開催された離島地域の活性化イベント『アイランダー2018』にも参加し、志摩市ブースでPR活動をしました。

◆離島活性化推進事業

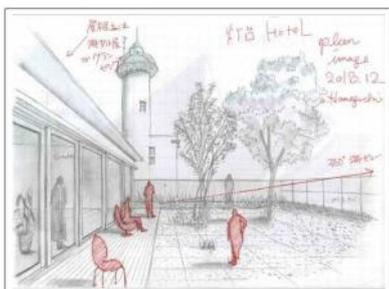
基金充当額 1,400,000円



◆都市計画一般経費

基金充当額 3,200,000円

『大王地域の地域構想』『大王町波切地区構想』のその後の地域づくりの状況や地域住民の意見を把握し、実施可能な事業を取りまとめた『大王崎周辺地区活性化プラン』を策定しました。



◆移住促進空き家改修支援事業

基金充当額 2,000,000円

◆移住促進住宅リフォーム支援事業

基金充当額 800,000円

志摩市へ移住をする方（IJUターン等）が市内の空き建物を住宅として使用するための改修に係る費用の一部を補助をしました。

また、志摩市に定住する意思のある移住者を対象に、住宅に使う建物をリフォームした費用の一部を補助しました。

◆自主文化事業

基金充当額 700,000円

阿児アリーナリニューアルオープン記念事業として半崎美子さんを招き、スペシャルコンサートを開催しました。



◆地域生活拠点づくり事業

基金充当額 2,500,000円

市内の2地区を拠点に、地域課題を検証し解決するため、地域の方々と共に考え、コーディネートする人材を配置しました。

まさき
◇**間崎拠点**：離島であることもあり、市内でも特に高齢化が進んでいます。交通が不便なこの地域では買い物に対する問題があり、拠点ではミニショップを運営し人が集まる場としてサロンなどを開催しています。サロンの一環で社会福祉協議会のバスを利用した買い物ツアーも実施しました。

わく
◇**和具拠点**：地域の福祉拠点がなかったため民生委員やNPO、ボランティアグループなど、地域のために活動している方々が集まり皆と交流する場として“地域交流拠点つばさ”を設置。『わいわいマルシェ』を開催し、活用しました。

＜わいわいマルシェ風景＞



◆老人福祉一般経費

基金充当額 2,500,000円

70歳以上のみの世帯及び一人暮らしの高齢者に対し、救急医療情報キットを配布しました。急な傷病時の対応に不安を抱える高齢者が安心して暮らせるよう、支援することができました。



◆心身障害者（児）福祉給付金支給事業

基金充当額 15,000,000円

障害者手帳等を持っている支給対象者に、日常生活の経済的な支援をするため『心身障害者（児）福祉給付金』を支給しました。



◆海外留学応援奨学金給付事業（GCF活用）

基金充当額 1,603,000円



志摩市の中学生や高校生の若い世代が留学体験により国際化への理解を深め、語学力を向上させ、異文化や世界の人々との交流意欲のある生徒を海外留学に挑戦させるため、諸外国へ留学するための費用の一部を奨学金として給付しました。

平成30年度中の基金の動き

※平成31年3月末時点

収入

○ふるさと応援寄附金積立額	99,202,548円
○基金利息	181,758円

支出

●基金活用（取崩額）	290,440,000円
●GCF（留学奨学金）	1,603,000円 ※

【使途別内訳】

環境に関する事業	76,000,000円
生活・安全に関する事業	19,800,000円
産業の振興に関する事業	41,140,000円
健康・福祉に関する事業	27,850,000円
教育・文化に関する事業	71,410,000円
まちづくりに関する事業	26,400,000円
その他個別の指定事業	40,000円
指定なし	27,800,000円
海外留学応援奨学金	1,603,000円 ※

(ガバメントクラウドファンディング)

※H31.4積立分からの繰入れ600,000円を含んで記載しています。

平成30年度末時点での基金残高

ふるさと応援基金	1,267,957,978円
環境に関する事業	284,388,351円
生活・安全に関する事業	38,476,005円
産業の振興に関する事業	130,134,002円
健康・福祉に関する事業	138,084,003円
教育・文化に関する事業	173,130,110円
まちづくりに関する事業	103,152,100円
その他個別の指定事業	420,000円
事業指定なし	399,492,004円
基金利息	681,403円



全域が伊勢志摩国立公園

志摩市は、古くから「御食国」と呼ばれ、
海の幸が豊富な地域で、今でも変わらぬ豊かさを保っています。

リアス海岸が特徴的な志摩市では、風光明媚な景観を活かした観光産業が栄え、
プランクトンが豊富で波が穏やかなこの英虞湾で、真珠養殖が発祥しました。

しかし近年では真珠養殖をはじめとする、これまで受け継がれてきた生業や培われてきた伝統文化の担い手が不足し、人口減少や地域経済の衰退の危機に直面しています。

この『ふるさと納税制度』で、志摩市の特産品をより広く知っていただくとともに、地域産業の活性化を後押しいただき、皆様からご支援いただけると幸いです。



お問い合わせ先
志摩市 総合政策課

〒517-0592 三重県志摩市阿児町鶴方3098-22
TEL : 0599-44-0205 FAX : 0599-44-5252